

AccurateViewTool

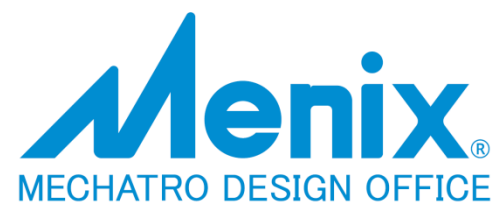
Ver2.0

Users Manual

2014/06/11

メニックス株式会社

三浦 大輔



AccurateViewTool

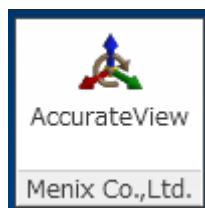
目次

AccurateViewTool 概要	- 3 -
AccurateViewTool 各機能の説明	- 3 -
コマンド実行環境の準備	- 3 -
コマンドの実行とパネル概要	- 4 -
正確な角度での視点変更 [Accurate]	- 5 -
定型方向への視点変更 [Fixed]	- 7 -
パネル下部 操作ボタン	- 10 -
画像出力設定 [Snapshot]	- 12 -
表示・実行条件の設定 [Setting]	- 14 -

AccurateViewTool

AccurateViewTool 概要

【AccurateView】は、アセンブリ・パーツおよびプレゼンテーションファイルで、正確なビューの回転をコントロールすることができ、且つ容易に指定の画像サイズで、画像をキャプチャ・エクスポートすることのできるツールです。

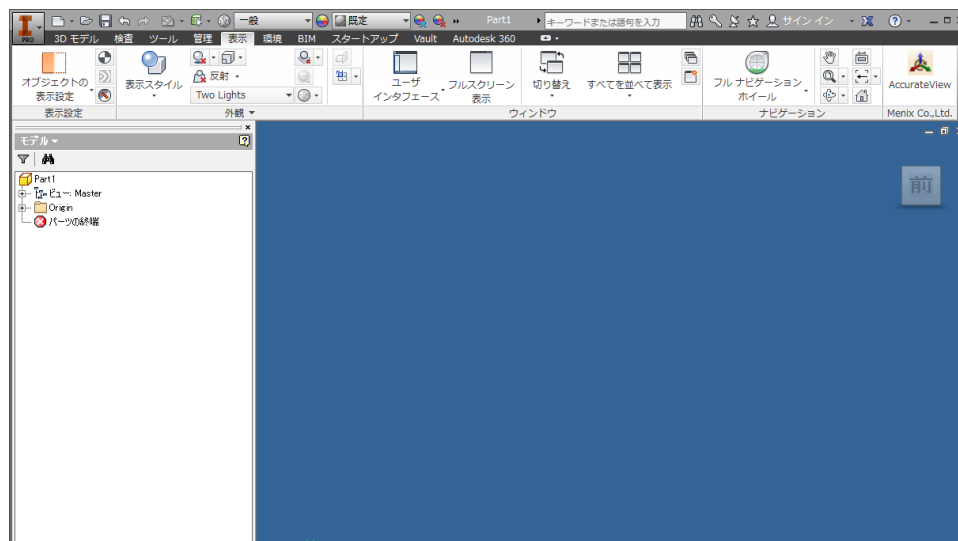


AccurateViewTool 各機能の説明

コマンド実行環境の準備

任意のファイル iam ・ipt ・ipn いずれかを開くとリボンパネル 【表示】Tab

- 【Menix Co.,Ltd.】に下図の【AccurateView】コマンドが現れます。



コマンドの実行とパネル概要

【AccurateView】 をクリックすると、パネルが開きます。

ダイアログは、4つの上部 TAB パネルと下部のコントロールボタンで構成されています。

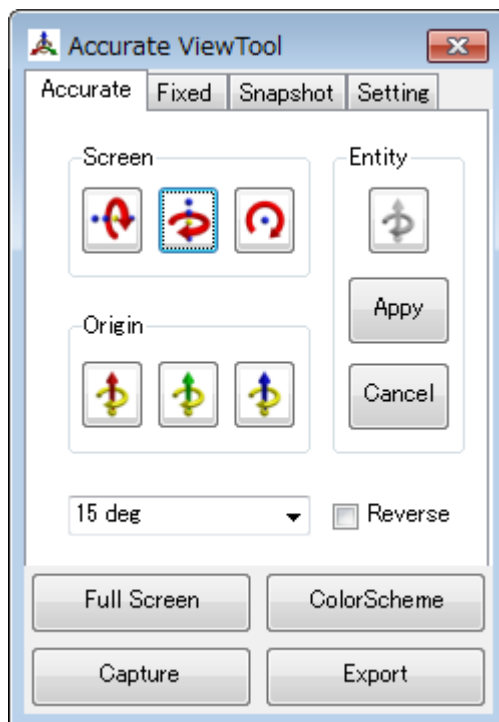
Accurate … 視点を指定角度で回転させるコントロール群

Fixed … 定型のビュー方向に視点をセットするコントロール群

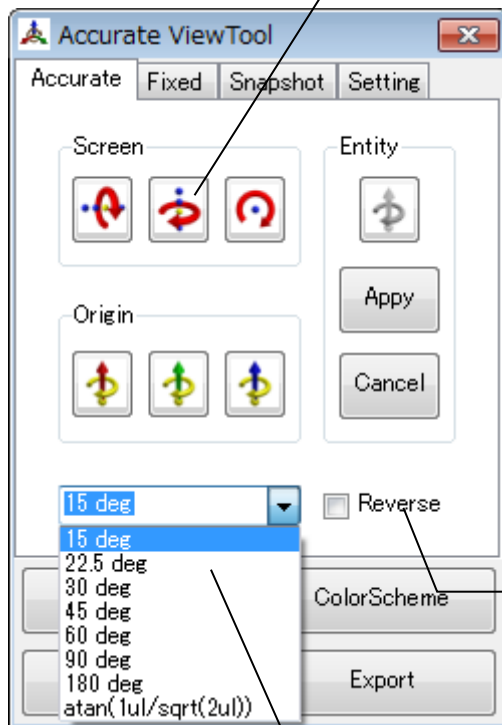
Snapshot … 画像をキャプチャ・エクスポート時の設定

Setting … 視点変更時の基本設定

下部ボタン … 視点変更前 変更後の作業で使用するコントロール群





正確な角度での視点変更 [Accurate]




Screen

視点を現在の画面基準で矢印方向に回転させます。

 ... 垂直軸回転

 ... 水平軸回転

 ... 視点軸回転

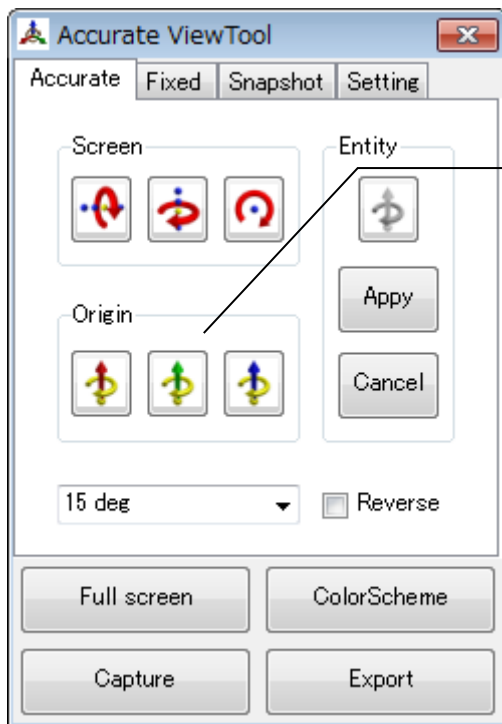
Reverse

実行時の回転方向を逆方向に切り変えます。入力ボックスに負の値を入力するのと同じ効果になります。

回転角度入力ボックス

入力した値で、上部のコマンドを実行します。
入力されていない場合は実行されません。
また、LIST の入力候補から選択することもできます。

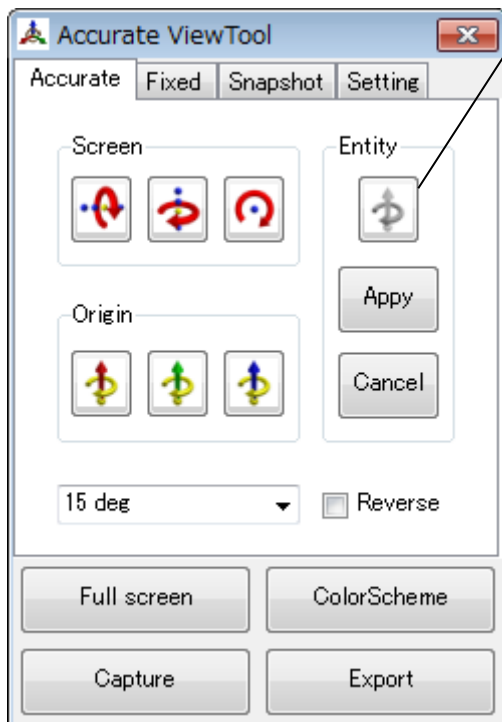
AccurateViewTool



Origin


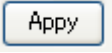
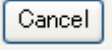
視点を、アクティブなドキュメントの原点軸基準で、矢印方向に回転させます。

-  赤 ... X 軸回転
-  緑 ... Y 軸回転
-  青 ... Z 軸回転



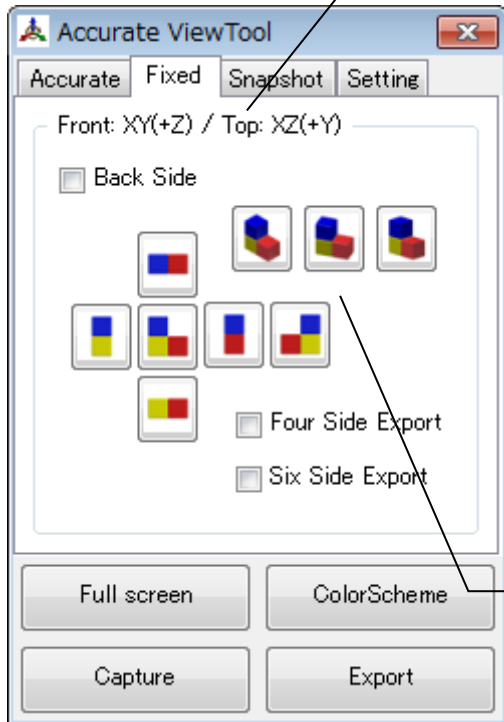
Entity

視点を、アクティブなドキュメントの選択されたジオメトリ基準で、矢印方向に回転させます。

-  ... 直線ジオメトリ選択ボタン
-  ... 回転実行ボタン
-  ... 選択キャンセル

★このコマンドは、アセンブリ・パーツ環境で有効です。

定型方向への視点変更 [Fixed]



Front: * * * / Top: * * *

現在設定されている方向の定義が表示されています。設定は[Setting]で行います。


図の場合は、下記のようになります。

Front(正面)定義 ... XZ(-Y)


Top(上面)定義 ... XY(+Z)

投影視点


正面・上面定義に基づいて各投影方向に視点を切り替えます。

 ... 等角投影表示

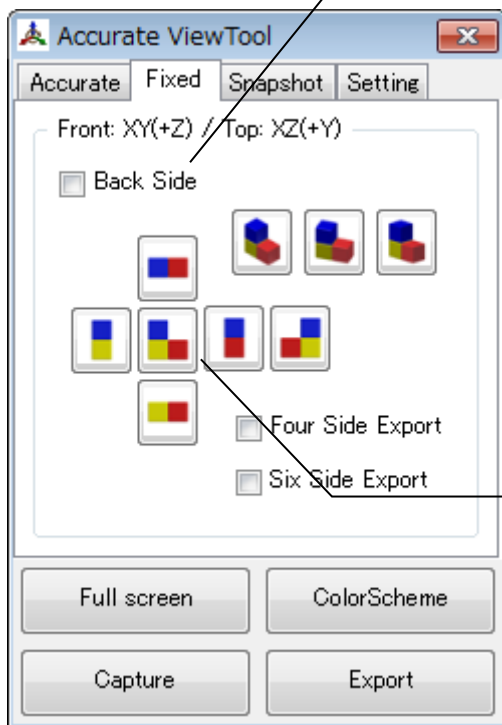
(Isometric)

 ... 不等角投影表示

(Axonometric)

 ... 両等角投影表示

(Dimetric)



Back Side

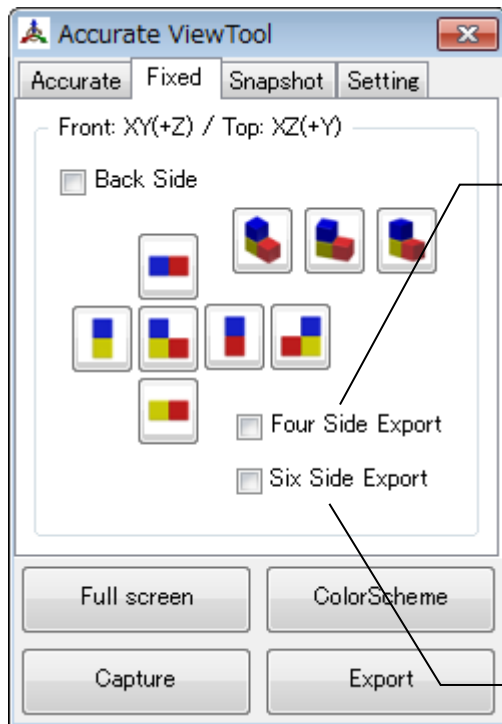
現在設定されている方向の定義設定を一時的に逆方向に切り替えます。
チェックを入れると 正面定義が、現在の背面定義に置き換えます。

視点変更

正面・上面定義に基づいて各投影方向に視点を切り替えます。
視点上方向は、三角法に基づいて調整されます。

-  ... Front 正面方向を表示
-  ... Top 上面方向を表示
-  ... Bottom 下面方向を表示
-  ... Left 左側面方向を表示
-  ... Right 右側面方向を表示
-  ... Back 背面方向を表示

AccurateViewTool



FourSide Export

定型方向からの画像を出力および、キャプチャ時のオプション設定

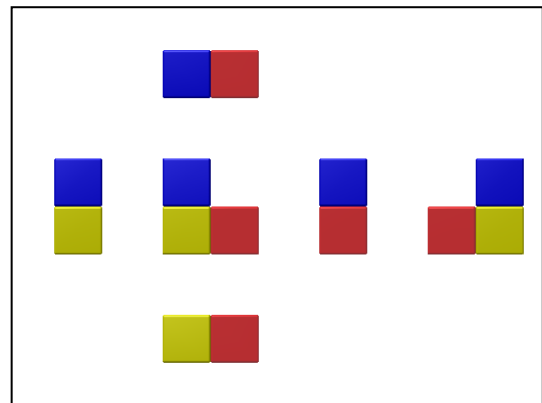
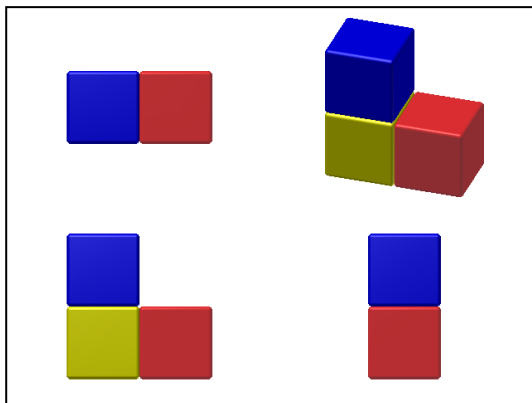
Front・Top・Right・Axonometric の4方向定義から、画像を生成し自動で結合出力します。

SixSide Export

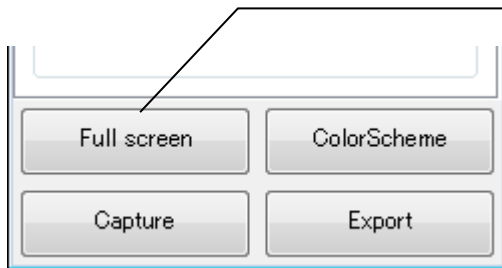
定型方向からの画像を出力および、キャプチャ時のオプション設定

Front・Top・Bottom・Left・Right・Back の6方向定義から、画像を生成し自動で結合出力します。

例:) FourSideExport オプション使用時出力 例:) SixSideExport オプション使用時出力



パネル下部 操作ボタン



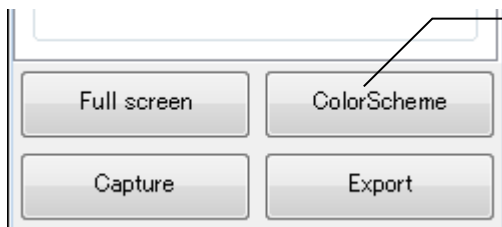
Full screen

フルスクリーン表示にします。
標準のコマンドと同じ動作になります。



ショートカット

【Ctrl+0】フルスクリーン表示

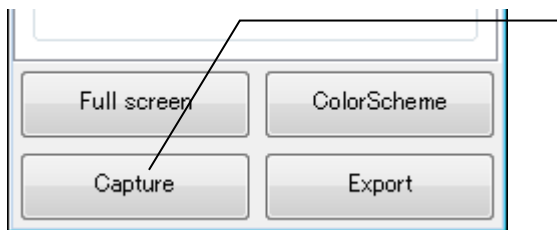


ColorScheme

カラースキームを変更
クリックすると、カラースキーム設定を
順送りで変更します。

作業で一時的に背景を変更する場合
に使用します。

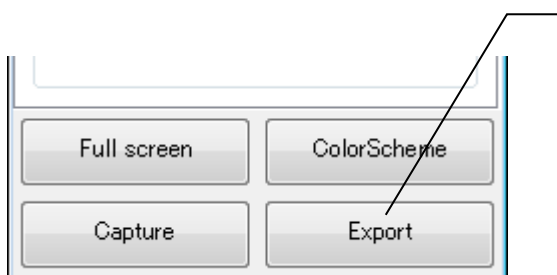
変更箇所は、【アプリケーションオプション】-【色】-【カラースキーム】



Capture

現在のアクティブなドキュメントから、画像生成しクリップします。

画像サイズ・背景等詳細の設定は [SnapShot]で行います。



Export

現在のアクティブなドキュメントから画像生成し、指定先にファイル保存します。

生成可能なフォーマットは、標準機能に準拠しています。

BMP Files (*.bmp)

GIF Files (*.gif)

JPEG Files (*.jpg)

PNG Files (*.png)

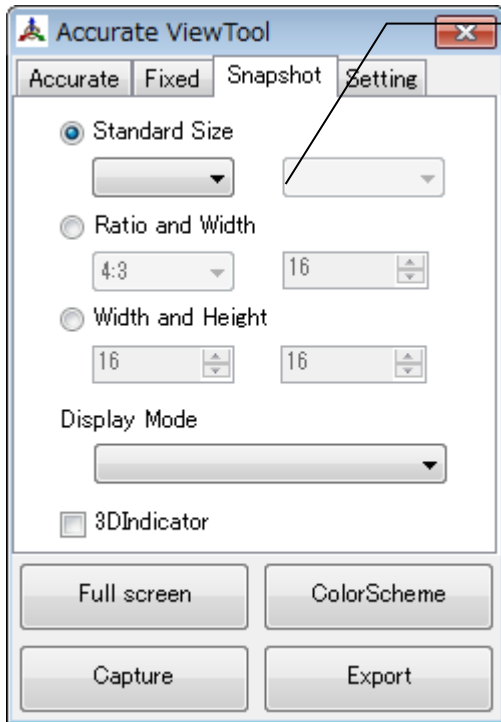
TIFF Files (*.tiff)

画像サイズ・背景等詳細の設定は [SnapShot]で行います。

AccurateViewTool

画像出力設定 [Snapshot]

Capture および Export コマンド実行時の設定をします。



画像サイズ設定

画像生成時のサイズを設定します。

Standard Size

定型の画像サイズを選択できます。

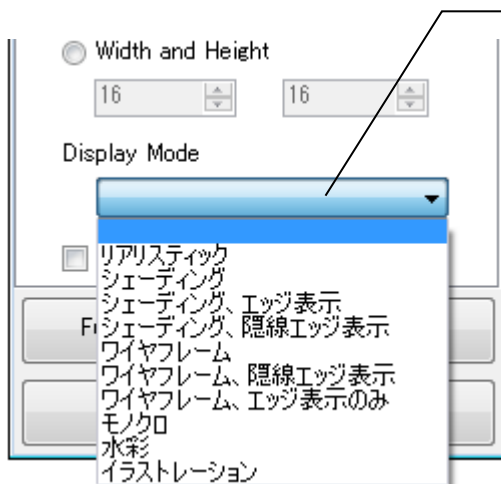
★ 定義 BOX 内が空白の場合、現在の画面サイズのままで出力します。

Ratio and Width

画像の縦横比と幅(ピクセル値)を指定できます。

Width and Height

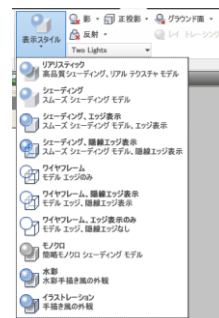
画像の幅と高さ(ピクセル値)を指定できます。



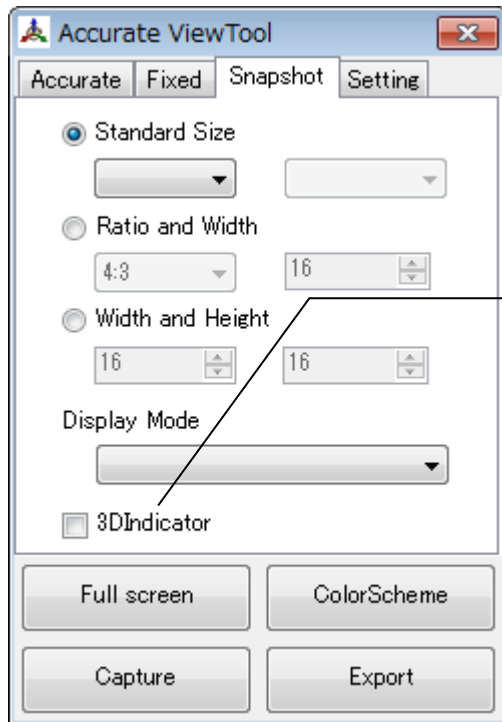
Display Mode

画像生成時の表示スタイルを指定します。また、画像生成後は実行前の表示スタイルに戻ります。

★ 定義 BOX 内が空白の場合、現在の表示スタイルのままで出力します。



AccurateViewTool

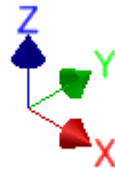


3DIndicator

出力時のみ、3D インジケータを表示させます。Default では OFF になっています。

出力処理後は、通常の設定状態に戻ります。

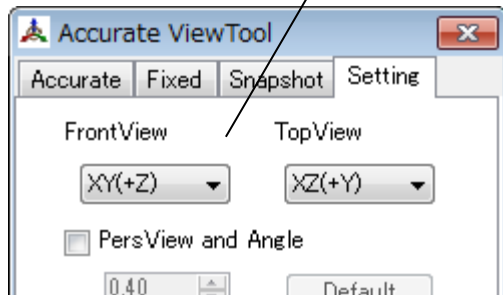
出力用途に応じ設定します。



AccurateViewTool

表示・実行条件の設定 [Setting]

【AccurateView】の設定を行います。



FrontView

正面の平面定義を行います。

Fixed 内のコマンドを実行時に設定が反映されます。

TopView

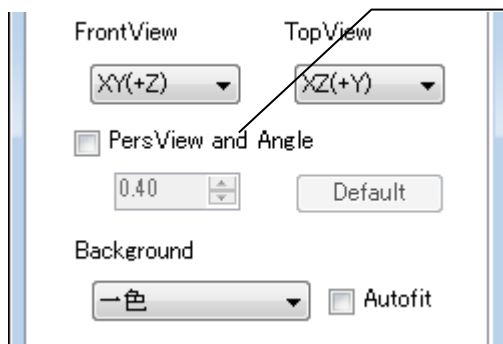
上面の平面定義を行います。

Fixed 内のコマンドを実行時に設定が反映されます。

★標準機能 ViewCube の設定オプションへは反映されず独立した設定値になります。



★この項目は、ダイアログを閉じると共に設定に保存され次回コマンド実行時に前回の設定の状態になります。



PersView and Angle

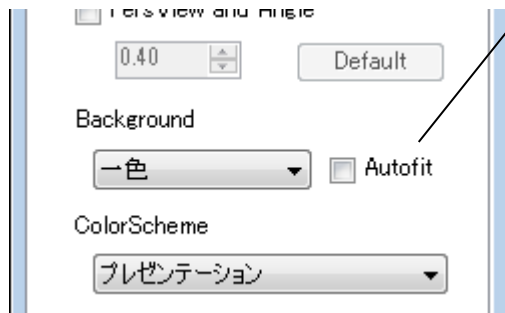
現在のビューをパース表示にします。

また、パースビューの設定値を変更することができます。

Default ボタンを押すと、設定値が規定の 0.4 に設定されます。

★この設定は、保存されることが無く一時的な設定になります。

AccurateViewTool

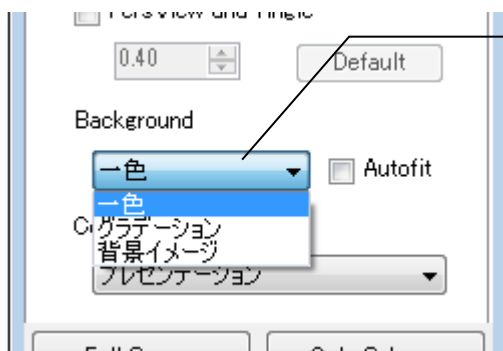


AutoFit

視点の変更コマンドを実行後に、ビューにフィットさせます。

Default では OFF になっています。

★この項目は、ダイアログを閉じると共に設定に保存され次回コマンド実行時に前回の設定の状態になります。

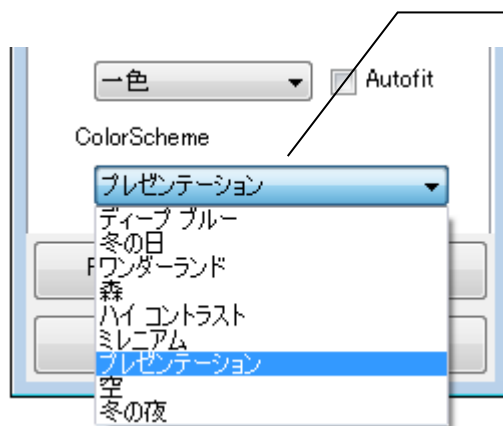


BackgroundType

背景色のタイプを変更します。

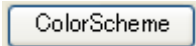
作業で一時的に背景を変更する場合に使用します。

変更箇所は、【アプリケーションオプション】-【色】-【背景】になります。



ColorScheme

カラースキームの設定を指定された値に変更します。

 ボタンと異なりドロップダウン LIST から、名称で選んで変更できます。

作業で一時的に背景を変更する場合に使用します。

変更箇所は、【アプリケーションオプション】-【色】-【カラースキーム】になります。